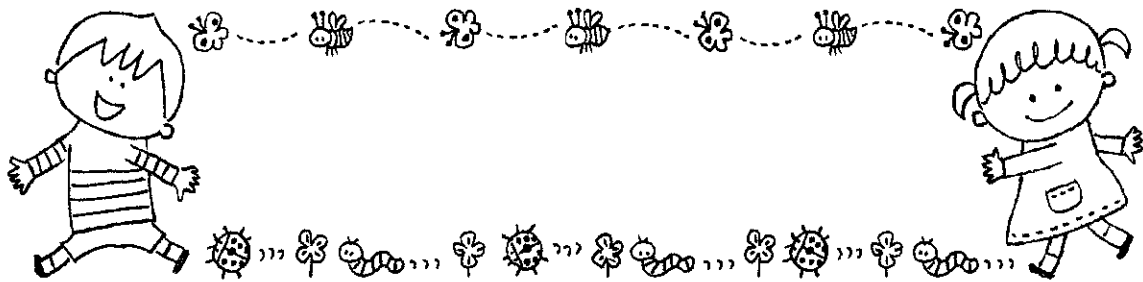


平成28年度

事業計画書



社会福祉法人 公正福祉会

しらゆり保育園

なみおか子育て支援センター

目 次

・ 社会福祉法人公正福祉会の理念	1
・ 平成28年度の活動方針	1
・ I 法人運営	2
・ II 経営する社会福祉施設及び事業	2
・ III 施設運営(保育理念等)	2
・ III 施設運営(児童の処遇等)	3
・ III 施設運営(保育士定数算定表)	3
・ III 施設運営(年間行事予定)	4
・ III 施設運営(健康管理)	4
・ III 施設運営(安全管理)	4
・ III 施設運営(栄養管理)	4
・ III 施設運営(職員の処遇)	5
・ III 施設運営(健康管理)	6
・ III 施設運営(研修計画・各種会議)	6
・ III 施設運営(施設事業管理)	7
・ III 施設運営(避難訓練等)	7

平成28年度 事業計画書

《社会福祉法人公正福祉会の理念》

良質な保育サービスを追及し
利用者の最善の利益と人権を守ることで
地域の福祉に寄与します。

《平成28年度活動方針》

保育園開設以来37年が経過し、少子高齢化や人口減少社会の中で地域の保育ニーズが変化しております。平成28年度は社会福祉法人として、上記の法人理念がしっかり実行されているか検証しながら、誠実に、勤勉に保育園の事業運営を行っていくものとします。

子ども子育て支援新制度から2年目を迎え、認定こども園への移行も視野に入れながら、地域の保育園としての生き残り対策に努めます。

I 法人運営

1 役員 (任期：平成27年6月16日～平成29年6月15日)

役職名	氏名	理事長職務 代理順位	役職名	氏名	理事長職務 代理順位
理事長	石村康弘		理事	對馬家隆	
理事	石村文秀	第1順位	〃	鳴海一成	
〃	加藤文子	第2順位	監事	阿部哲	
〃	石村ヒサ	第3順位	〃	石村敏子	

2 苦情処理第三者委員

阿部哲(監事)、石村敏子(監事)

3 理事会

定例理事会を下記の通り開催する。

- ① 5月：決算承認、事業報告、その他
- ② 10月：補正予算承認、各種規程改正、その他
- ③ 3月：当初予算承認、事業計画、その他

* 上記の他、必要に応じて臨時会議を召集開催する。

4 監事の監査会

5月の決算理事会前に実施し、監事は理事長及び青森市長に監査結果を報告するものとする。

5 法人本部

法人本部の事務は、理事長石村康弘が担当する。

6 資金計画

保育園と子育て支援センターの通常経費は、運営費と私的契約利用料収入、経常経費補助金収入、雑収入、受取利息配当金収入でまかなう。

II 経営する社会福祉施設 (定款記載に依る)

1 第二種社会福祉事業

- (1) 保育所 しらゆり保育園の設置経営 (定員90名)

・所在地 青森市浪岡福田一丁目9番地6

- (2) 地域子育て支援拠点事業 なみおか子育て支援センターの設置経営

・所在地 青森市浪岡福田一丁目9番地6

III 施設運営

1 保育の理念

児童福祉法に基づき、社会の財産である児童を健全に育み、権利と義務を行使する人間に育てます。

2 保育方針

- ① 子どもの健康と安全を基本にして保護者の協力のもとに家庭養育の補完を行う。
- ② 子どもが健康安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。
- ③ 豊かな人間性をもった子どもを育成する。
- ④ 乳幼児等の保育に関する要望や意見、相談に関しては、分かりやすい用語で説明して、公的施設としての社会的責任を果たす。

3 保育目標

- ① 明るい子
- ② 元気な子
- ③ 考える子

4 児童の処遇

(1)園児クラス編成(28年4月当初 : 3月23日現在)

クラス名	年齢	児童数
ひよこ組	0才児	4名
こりす組①	1才児	12名
こりす組②	2才児	13名
うさぎ組	3才児	14名
きりん組	4才児	11名
ぞう組	5才児	22名
計		76名

保育士定数算定表 (特別保育事業実施分含)

年齢区分	児童数	保育士の数
① 乳児(0才児)	3人につき	1人
② 1・2才児	6人につき	1人
③ 3才児	15人につき	1人
④ 4歳以上児	30人につき	1人
⑤ 主任保育士加算		1人
⑥ 休憩保育士加算		1人
⑦ 保育標準時間加算		1人
⑧ 地域子育て支援センター		2人
⑨ 産休・育休代替者		人

○保育士配置数

- ①0才児 $4 \div 3 = 1, 3$ ②1・2才児 $25 \div 6 = 4, 1$ ③3才児 $14 \div 15 = 0, 9$ ④4才以上児 $33 \div 30 = 1, 1$ ⑤主任保育士加算 1人
⑥休憩保育士加算 1人 ⑦保育標準時間加算 1人 ⑧地域子育て支援セン

3~5才	5g	20	3	15	1	30	50	50	5	2	3	2	2	15	1	1	1	3	5	8	1
									0			0	0		0	0	5				0

年齢別構成表及び給与栄養目標量(1人当り)

区分	エネルギー kcal	タンパク質 g	資質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA μgre	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	食物繊維 g	塩分 g
1~2才児	500	19	15	200	2	200	0,25	0,3	20	4	2,3
3~5才児	450	20	19	222	2,4	203	0,29	0,35	20	4	2,3

○給食指導

毎月の献立表等は、給食計画に基づき、関係者協議のうえ作成する。

○離乳食に関して

「離乳食の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1才児の食事に関しては、離乳食(完了食)後、間もないので個人によっては離乳食を準備していく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、早く解除できるように配慮していく。

○食育の推進

①給食のサンプル展示

子ども達が毎日、何をどれだけの量を食べているのか知ることにより、食育に関する親子のコミュニケーションを促す。

②自然との関り

野菜や果物の栽培や収穫を体験し、自分の口に入るまで、沢山人々の働きがあることを知り、食べることへの感謝の念をもつ。

5 職員の処遇

(1)職員構成 (28年4月当初 : 3月23日現在)

園長1名、副園長1名、主任保育士1名、保育士12名、調理員2名、嘱託医2名

平成28年度 職員構成

No.	職名	組別	クラス年齢	氏名	住所	備考
1	園長			石村 康弘	青森市浪岡	
2	副園長			石村 暢子	〃	
3	主任保育士			萩生田 優	〃	
4	保育士	支援センター		小笠原 祥子	〃	
5	〃	こりす①組	1歳児	小中 有沙	〃	
6	〃	ひよこ組	0歳児	長谷川 郁子	〃	
7	〃	こりす①組	1歳児	奥崎 望	〃	

8	〃	こりす①組	1歳児	水島 紗斗美	弘前市	
9	〃	こりす②組	2歳児	佐藤 真紗子	黒石市	5月復帰
10	〃	こりす②組	2歳児	工藤 瞳	青森市浪岡	
11	〃	きりん組	4才児	福士 裕紀乃	黒石市	
12	〃	ひよこ組	0歳児	赤石 結	弘前市	5月復帰
13	〃	ひよこ組	0歳児	兼平 奈津美	青森市浪岡	
14	〃	支援センター		種市 理沙	黒石市	
15	〃	うさぎ組	3歳児	菅原 亜美	青森市浪岡	
16	〃	ぞう組	5歳児	山谷 智里	黒石市	
17	〃	こりす②組	2歳児	佐藤 美希子	〃	臨時
18	管理栄養士			三上 愛美	弘前市	
19	調理員			石村 祐子	青森市浪岡	
20	嘱託医	せきばクリニック		関場 慶博	藤崎町藤崎	
21	〃	かとう歯科医院		加藤 伸生	青森市浪岡	

退職

主任保育士 退職	高谷 きみ子 (28年3月31日)	パート保育士 退職	工藤 あすか (28年3月31日)
パート保育士 退職	福田 望美 (28年3月31日)	パート保育士 退職	赤平 優希 (28年3月31日)

(2)健康管理

健康診断 年1回実施 (せきばクリニック)

(3)各種会議

職員会議 月2回実施	給食会議 月1回実施
------------	------------

(4)研修計画

《職員研修理念》

福祉施設における人材育成の重要性を認識し、個々の職員の研修ニーズに沿った個別研修計画の評価指導を充実させ、職員の資質向上と研修成果を日常業務(保育サービス)へ還元させていく。

①職場内研修の推進・充実

職員会議・打合せ、伝達講習等の充実を図り、園・各クラスの問題提起と解決を職員全体で認識していく。

②各種外部研修に積極的に参加し、研修の復命、評価を実施し組織全体の意識の共有を図っていく。

6 施設事業管理

(1)園舎の整備、備品購入計画

①子ども子育て支援新制度の中で、認定こども園への移行も意識しながら園舎改築申請を検討する。老朽化した備品の買い替え、構築物の修繕を検討する。

(2)災害対策

年2回業者による火災報知機の保守点検と非常災害時の備蓄用品(発電機、電池、飲料水、トイレ用水等)の準備、確認を行う。

避難訓練年間計画

月	想定	内容	月	想定	内容
4	火災	非常ベルの音を聞き、音に慣れる。	10	地震 不審者	地震の際の避難方法を知り、自ら行動しようとする。様々な不審者がいる事を知らせ、お約束や対応の仕方の再確認をする
5	地震 不審者	非常ベルが鳴ったら、近くの保育士の下に集まり、放送を聞くことを覚える。 お約束「いかのおすし」を覚え、不審者避難訓練を知る。	11	火災	乳児室から火災が発生した際の避難方法を知り、行動する。 (総合避難訓練)
6	地震	地震の際の避難方法を知る。	12	火災	子育て支援センターから火災が発生した際の避難方法を知る。
7	火災	給食室から火災が発生際の避難方法を知り、行動する。 (総合避難訓練)	1	地震から火災	地震後、近隣の自宅から火災が発生した際の避難方法を知る。
8	地震	担任以外の保育士の指示に従って行動できるようにする。	2	非常災害	色々な災害があることを知り、それによって避難方法が変わる事を知り行動しようとする。
9	風水害	災害によって避難行動が違う事を知る。	3	火災	避難行動を各自しっかり身に付ける。

7 地域社会との連携推進

(1)地域社会への保育園(社会資源)としての機能を開放、還元する。

(2)地域老人クラブ、老人福祉施設等の訪問交流

(3)中高生の職場体験活動、お掃除ボランティアの受け入れ

(4)地域の子育て支援のための、子育て講座等の開催

(5)保育実習生の受け入れ

8 その他

保育園予算は、入所児童の減少、設備、備品の老朽化で厳しいものとなることが予想される。このため、その削減と資源の省エネ推進のため、必要以上の電気の消灯や室温の設定、消耗品の使用に関わる配慮等、一人ひとりの意識改革を図っていく。